



朝日小 1年「クイズやずかんをつくろう！」

1年国語「くちばし」「うみのかくれんぼ」「ほんはともだち」
単元の課題《「くちばしクイズ」や「かくれんぼずかん」をつくろう》



1年生は、本を読むのが大好きで、特に、虫や鳥など身近な生き物の本は、普段からよく借りたり読んだりしています。そこで、好きな生き物を選んで、クイズやかくれんぼずかんを作る学習を設定しました。ただ、この時期の1年生には、本から必要な情報を取り出すのはなかなか難しい活動なので、情報の見つけ方を教えながら、段階を踏んで、丁寧に指導していきました。

1学期に取り組んだのが、「鳥のくちばしクイズ」を作る学習です。教科書の3つの鳥のくちばしを学習した後、全員で、「すずめ」と「かわせみ」のくちばしクイズを作ってみました。本のページを印刷して渡し、線を引いたり色分けしたりしながら必要な情報がどこに書いてあるかをいっしょに確認していきました。すると、子どもたちは、本のどのあたりにどんなことが書いてあるのかが分かってきました。そこで、5つの鳥の中から好きな鳥を選んでクイズを作りました。本を見せて鳥を選んだ後に、そのページを印刷して渡しました。5つに絞ったのは、クイズを作りにくい鳥があることや、同じ鳥を選んだ人とチームになって相談させたかったからです。子どもたちは、同じチームの人と相談しながら、クイズを完成させていきました。完成したクイズは、友達と交流して楽しんだり、図書館に展示したりしました。



本から情報をさがす子どもたち



くちばしクイズの交流会

かくれんぼずかんの展示



2学期に取り組んだのが、「生き物のかくれんぼずかん」です。教科書の生き物を読んだ時から、子どもたちは、「すごい！」とつぶやいていたので、「かくれ方のすごい！をみつけよう」と、本を見る意欲を持たせました。今回も、本を読み聞かせ、その中から自分の好きな生き物を選んで紹介を書きました。「くちばしクイズ」で、情報の取り出しを経験しているため、子どもたちは自然とチームで相談しながら、線を引いたり色分けしたりして、体の特徴やかくれ方を見つけていました。紹介したのは海の生き物のかくれ方だけでしたが、図書館には、森や野原でかくれる生き物の本も展示してあったため、子どもたちはいろいろな生き物の本を読んで楽しんでいました。

かくれんぼするいろいろな生き物の本の展示



2つの単元を通して、本から必要な情報を取り出す力がついてきました。しかしこれまでは、教師側がいくつか絞った中から選んで資料を渡していたので、次の「じどう車ずかんをつくろう」の単元では、じどう車の本や図鑑を人数分以上用意し、たくさんの本の中から自分の好きな自動車を選んだり、本を手元に置いて学習したりできるようにしたいと考えています。